



青新

発行 茶道裏千家淡交会高岡青年部

発行日 令和7年2月

号数 第12号



部長ご挨拶 部長 在田 吉宏



— 2年間の活動を終えて —

昨年度は、例年同様に大寄せ茶会とそれに向けた道具作りの活動に、国泰寺の月釜会への参加という大きな茶会が加わりました。会員自体が各自でお茶の技術を上げていくことが改めて問われる一方で、そもそも淡交会青年部としての活動や存在意義について考える1年となりました。

夏の大寄せ茶会は「開かれた茶会」をテーマにして、誰もがアクセスしやすい茶会を目指して、現代作家に拘った道具組みや茶席の設えをさせていただきました。国泰寺においては、気は張りながらも青年部らしい茶席作りを目指して、設えさせていただきました。また、高岡市と連携した、ひなフェスやクラフト市場街での呈茶においては、お茶の楽しさを幅広い世代に広めることができたと考えております。



一方で、我々は茶会をやること自体が目的の会ではありません。ただ楽しい茶会をやることではなく、修練・奉仕・友情を実践すべく様々な活動を行う中で、茶道の探求であったり交流を作っていたりすることが大事です。本年度も様々な活動を行なっていく所存であります、皆様方の引き続きのご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



定期総会

2月 4日(日) 於：高岡文化ホール



定期総会では前年度の行事報告・収支決算報告・会計監査報告を行い、今年度の行事計画・収支予算書について承認を頂きました。また卒業生の皆様にお家元様、高岡青年部からの感謝状をお渡しし、これまで高岡青年部を牽引いただいたことに敬意を表しました。

総会後に薄茶席を設け、支部の先生方・青年部会員とともに一服を楽しみました。(松岡 正浩)



ひなフェス

3月 17日(日) 於：山町ヴァレー



ひなフェスでは、子供から大人まで多くの方々が来てくださり、盆点前茶道体験を行いました。青年部メンバーが帛紗捌きやお茶の点て方や飲み方を説明したあと、実際に自分でお茶を点ててもらい、春らしい桜のお菓子と一緒に召し上がりいただきました。(福井 佑依)



高岡茶会

4月 14日(日) 於：勝興寺



国宝勝興寺にて「高岡茶会」が催され、本堂での立礼席のお手伝いに参加しました。読経が聞こえてくるお席もあり厳粛な空間の中での、貴重な経験をさせていただきました。学校茶道の先生にはあたたかくご指導いただき、青年部会員にとって大きな学びの1日になりました。(堀川 優子)



国泰寺 月釜茶会

7月7日(日) 於：国泰寺



「国泰寺月釜会」に初参加となりました。初参加でしたので、準備に手間取ってしまったり、夏という季節柄暑くて大変だった事もありました。しかし、お客様やお寺の方々に「良いお茶会だった」と喜んで頂いた事が大変だった事以上に自信や達成感になりました。

次回は初めてを上回る良いお茶会にしたいと思いました。(扇原 理美)



螺鈿体験

7月21日(日) 於：武蔵川工房



螺鈿に触れた初めての時間でした。貝のシートに彫刻をほどこし、裏の蓋に模様をつけていくうちに、螺鈿のキラキラとした美しさと高岡工芸の素晴らしさに魅了されていました。この螺鈿体験は、私にとって、高岡青年部の活動に参加した最初の日でもありましたので、制作した裏を使うたびに初心を思い出し、今後も日々の稽古に励みたいです。(押川 萌香)



第11期北陸信越ブロック研修チーム



第11期研修チームに参加させていただき、お茶が好きで繋がることのできた18名の仲間と様々な貴重な経験をさせていただきました。卒業茶会では「つなぐ」をテーマに受付、待合、点心席、茶席の各班が一丸となり今の私たちにできる精一杯のおもてなしをさせていただきました。今後もこのご縁を大切に、2年間の活動を支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。(森田 恵梨)



新涼茶会

9月8日(日) 於：氷見市芸術文化館



『開かれた茶会』をテーマに、骨組みだけの点前座を設け、お客様も一緒にお茶の空間に入って、涼を感じていただけるような設えを考えました。また、能登半島地震で被害を受けた氷見への復興を会員一同で願いました。皆で協力し合い、実りある時間を過ごすことができました。良い経験をさせていただきありがとうございます。御座いました。(米谷 恵莉香)



第56回北陸信越ブロック会員大会 9月28日、29日(土.日)

於：石川県加賀市



9月28日(土) 29日(日)に石川県で行われた茶道裏千家淡交会青年部第56回北陸信越ブロック会員大会に高岡青年部 13名で参加しました。

『シン茶人』というテーマの元、新しい茶の楽しみ方とはどのようなものなのかを会員皆で模索・研鑽しあう大変有意義な大会でした。(佐藤 俊吾)



第36期リーダーシップ・トレーナー研修(L・T)



先生方や先輩方にいつも支えられており、頼るばかりでなく自分事として活動しなくてはとの想いで研修に参加致しました。研修の講義では淡交会の歴史や組織、国際活動、学校茶道等々様々な視点から学ばせて頂きました。自主研修では茶杓や帛紗作り、禅を学ぶ等々実施しました。研修の最後には呈茶席の設えをさせて頂きました。

研修に参加し、一步踏み出し挑戦する事や一步相手にあゆみ寄る気持ち等、まず「一步」が大切と感じました。参加させて頂き、皆様方に感謝申し上げます。活動を活かして精進して参ります。(澤田 佳澄)



結びの会（卒業茶会） 11月17日(日) 於：喜知屋



人生初の正客、いつもならば青年部の茶会では受付や水屋でバタバタと過ごすことが多く、茶席に座って過ごすこと自体ほぼ初めてで、こんな感じかあ～と思わず周りを見渡してしまいました。久しぶりに縁高でお菓子をいただき（取り方は思い出しながら）、お濃茶を複数人で分け合うという昔からなじんだスタイルでおもてなしいたできて、たのしい時間を過ごせました。ありがとうございました。(野澤 美智子)

卒業生の紹介

大野 政治 様 小路 晃 様 竹中 志光 様

野澤 美智子様 堀川 優子 様

お世話に
なりました





新部長ご挨拶

部長 村上 篤子

令和7年度テーマ 『今に感謝』 —みんなでお茶を楽しもう 心を通わせよう—

「お茶をすることが大好き、青年部の仲間と活動することが本当に楽しい！」

これまで青年部だからこそできる多くの経験をさせていただきました。社中の枠を越えた新しい気付きや仲間との学びの中で、お茶が楽しいという先輩方からいただいた、この気持ちを高岡青年部にご縁があって集まっていたいただいた会員に伝えていきたいと思っております。

昨年に起きた能登半島地震により、私たち会員も大きな被害を受け、お茶を嗜むことさえ考えられなくなった時期がありました。今、再び青年部で集まり、一つひとつの行事ができることに感謝の気持ちを持って、ここにいる仲間と共に手を携えながらお茶の楽しさを繋げて参りたいと考えております。

いつも温かく見守っていただいております高岡支部のみなさま、親先生のみなさまには、引き続きご指導、お力添えをいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



令和7年度開催行事



2月16日(日)	高岡青年部定期総会 於：高岡文化ホール
4月5日(土)	高岡市立博物館 呈茶の会
4月19日(土)	高岡茶会 於：射水神社
5月25日(日)	高岡青年部大寄せ茶会『青新茶会』 於：井波別院瑞泉寺
11月2日(日)	国泰寺 月釜
11月8日(土)～9日(日)	第57回北陸信越ブロック会員大会 於：八尾町
11月30日(日)	結びの会

令和7年度

青年部会員絶賛募集中！

入会希望、各種ご相談はこちらまで！

高岡青年部 部長 村上 篤子

Eメール atsuko@isopp.co.jp

電話 090-7083-7366

年会費：1,000円(25歳まで)、3,000円(25歳以上)

茶道裏千家淡交会
北陸信越ブロックWEB
高岡青年部ページ

